

授業科目名	人権保育	担当教員名	秋元 洋祐
必修/選択	必修	開講学年・学期	2年 後期 (年間開講数 2講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	1単位 (15時間)
施行規則に定める科目区分等	教育の基礎理解に関する科目	授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	
授業の概要及び全体目標	保育者には、人権問題に関する正確な理解と対応策が求められる。現代の社会では、被差別部落出身による結婚差別や出生による子供の差別が未だに残されている。保育の現場でも、障がい児の受け入れ拒否が問題になる。障がい児を受け入れる際に、幼稚園教諭や保育士は、児童の成長発達と安全の確保に配慮する必要がある。本講義では、これらの人権問題を取り上げ、保育現場での対応策を考えられるように、自らの人権意識の深化や充実を目指す。		
到達目標	本講義の目標は、保育者としての人権意識を高めることにある。人権問題は、人々の様々な差別意識から生まれる。この男女差別、同和問題や障がい児の入園問題について、実際に争われた裁判例を題材とし、人権保障の重要性を学んでいく。また、本校のDPで示されているように、授業の際に質疑応答を行い、専門的知識・技能を活用して人権規制の問題点を説明できたり、自分の思いや考えを発表できたりすることも目標とする。		
テキスト	使用しない (担当教員作成の授業用プリント)		
参考書・参考資料等	毎回授業用プリントを配布する。		
成績評価の方法	定期試験 (80%) ・授業での質疑応答 (20%) の総合評価		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	外国人の人権：講義と成績評価の説明、外国人の登録申請の際に指紋捺捺制度が問題となった事案を題材に、外国人の人権問題	(1)-④	
第2回	子供の人権：バイクの免許取得が校則で禁止されていた事案を題材に、子供の人権保障	(1)-①,(1)-②,(1)-③	
第3回	同和教育：被差別部落出身によって婚約が破棄された事案を題材に、同和問題	(2)-①,(2)-②	
第4回	男女平等：会社が男女で定年に差異を設けていた事案を題材に、男女差別の問題	(2)-①,(2)-②	
第5回	平等権：嫡出子と非嫡出子の法定相続の差異が問題になった事案を題材に、法の下での平等	(1)-②,(1)-③	
第6回	差別表現：朝鮮学校に対してヘイトスピーチがなされた事案を題材に、表現の自由	(3)-①,(3)-②	
第7回	人権保育：障がいを理由に幼稚園の就園申請が不許可とされた事案を題材に、障がい児の成長発達権	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (3)-①,(3)-②	
第8回	人権保育：障がいを理由に普通保育園の入園申込みが不承諾とされた事案を題材に、教育を受ける権利	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (3)-①,(3)-②	
定期試験	筆記試験		